

平成26年度 歴史民俗資料館の管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 地域教育課

評価対象期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

評価委員会開催日：平成27年10月13日

1 指定管理者

指定管理者	株式会社日立ビルシステム
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）
施設概要	発掘による埋蔵文化財や、市民から寄贈された農具、民具などの民俗資料が多くあることから、これらを収蔵し、展示、公開するとともに、長年にわたり伝えられてきた民話の紹介などイベントの開催やリーフレットの発行などにより、特徴ある郷土の歴史、文化をより深く理解し、誇りと親しみを感じてもらうことを目的とする。
指定管理料	9,987千円（平成26年度）

2 管理運営の内容

項 目	26年度の状況
運営状況	○平等利用のための手法 ・職員に対する接遇教育や、案内資料の整備、ミーティングを通じた意思統一などにより来館者への平等で均一なサービスの提供に努めた。 ・車椅子で来館の方は介助者と来館されるため、職員は介助の妨げにならないよう配慮した。障がい者が使いやすい共用トイレがあるので、トイレ使用目的の方も多く、公共施設としての役割を果たした。高齢者施設や聴覚言語機能障がい者施設の団体見学があり、手話通訳の方と共に説明を行った。 ○自主事業の展開 ・市との共催も含め、施設の特徴を生かし、目的に沿ったイベントを重点に計画し、研修室を利用した児童向けの「手作りに挑戦」や、大人向け「ありがとうボックス」「考古学講座 歩いて学ぶ考古学講座」など各種イベントを年間計26回開催した。夏の「ストラップづくり」では、博物館実習生と協力して実施した（29人の参加）。10月のハロウィンイベントでは68名の子どもたちが参加、写真撮影後に写真をプレゼントした。クリスマス向けの「石ころサンタさんづくり」で50人の親子が参加された。すべて職員が開発したものを手づくりで準備しているのが大きな特徴である。 ・有料自主事業講座として歴史講座「歩いて学ぶ考古学講座」は、3年目を実施、本年度は「古墳時代」の座学を3回と9回を大阪府内と奈良県・京都府・和歌山県内の天皇陵や古墳を散策した。各古墳から発掘調査で出土した遺物を各市教育委員会文化財施設及び博物館等で手にふれた。（参加者32名） ○情報提供 ・資料館のホームページにて、施設の紹介や催し物その他諸情報について、親しみのある表現で最新情報の公開に努めた。 ・ポスター及び市の広報紙や北河内のミニコミ誌で催しの案内を掲載し、広く市民の方々にお知らせすることにより、来館者の誘致を図った。 ・各小学校（7校）及び近隣の保育所に案内状を配布し、施設活用のPRに努めた。小学校3年生については、全7校と近隣市1校が来館して「昔のくらし」学習を行い、毎年畷古文化研究保存会のご協力を得て昔の道具に触れる学習を進めている。6年生の「畷の歴史学習」については、ゆとり教育が解消されたことにより授業数が増加したことが原因としてここ数年は、2校の来館学習となっている。 ・ポスター、市広報誌、当館HPなどにイベント情報を掲載。発掘調査速報展を随時開催。奈良県立橿原考古学研究所附属博物館で開催の「弥生時代の墓—死者の世界—」展と徳島市立考古資料館で開催の「馬かける」展に遺物が貸し出された。「馬かける」展のポスターに四條畷市南山下遺跡出土の馬形埴輪の写真を使っただき、四條畷市をPRした。大阪府立弥生文化博物館で資料館職員の原画展が開催され四條畷市をPRした。

	・弊社のHPに掲載し、指定管理業務を通じて四條畷の歴史的遺産を全国に紹介を行った。 ・こども歴史「わたしたちの四條畷」と大人版歴史「歴史とみどりのまち ふるさと四條畷」の資料館内での販売も継続した。 ○安全確保対策 ・常に会社と連絡をとり、業務フロー、緊急連絡先等の掲示と、ミーティングを適時実施し、常に状況に合わせた管理運営に努めた。特に安全面の注意事項は文書で確認し、注意を払っている。火災消火訓練・消防署通報訓練及び緊急時の避難訓練は毎年実施している。 ・災害の際、弊社の緊急ネットワークが機能するよう緊急連絡先の掲示などを行った。 ・トラブル発生時用の緊急連絡先及び緊急連絡対応体制の掲示を行った。また、国道163号沿いの弊社の部品センターによるバックアップ体制を整えている。 ・平成26年6月17日午前1時43分資料館玄関の自動ドアをこじ開け不法侵入者事件発生。警備会社から四條畷警察署及び緊急連絡担当者に連絡を受け、教育委員会職員に連絡を行い、関係職員が急行する。職員到着時警察官4名で侵入者男1名を取押える。室内の防犯カメラに侵入者の行動が録画されていた。速やかに、自動ドアこじ開け防止のための器具取付を行う。								
維持管理状況	○保守点検 ・各設備の稼動状況に合わせた最適なメンテナンス計画を立て実施した。資料館開館29年を迎え、昨年度は空調設備改修工事と展示ケース内のすべての壁紙取り替えを実施。今年度は展示室内の壁紙取り替えを実施し、展示室が一新した。 ・職員による蛍光灯交換、機器の状況点検など職員を動員した、効果的な維持保全に努めた。 ・消防設備点検と空調設備点検を同時作業にて実施することにより、作業の効率化を図った。 ○環境保全への取組み ・年間を通した空調温度の見直し、OA機器の適正使用、こまめな消灯の実施など、環境保全の推進と経費削減に努めた。 ・ゴミ箱の共用化、種類別の設置などによりゴミの分別と少量化に努めた。 ・紙印刷媒体を回覧して共有することで、紙の使用量を削減した。 ・毎年四條畷市役所生活環境課へ当年度の環境負荷実態把握調査報告を提出している。提出資料を基にして職員ミーティングなどで環境負荷への意識向上を図ると共に、利用者向けにはポスターの掲示等により環境意識の向上を図った。								
利用状況	今年度は、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館や徳島市立考古資料館に遺物が貸し出され、大阪府立弥生文化博物館で資料館職員の原画展が開催されるなど、県外からの注目もあり、遠くは千葉県柏市からの来館者も含め、市内はもとより市外からも多くの来館者があった。来館者には、指定管理者職員の説明でゆっくりと見学していただき、四條畷の歴史を広くPRすることができた。また、例年どおり6年生の「歴史」と3年生の「昔の暮らし」の校外学習で、畷古文化研究保存会の会員の協力を得て子供たちが実物に触れる体験学習を実施した。 前年度と比較し、学校等や一般など各種団体の利用は増加したものの、個人利用が減っており利用者数は全体で5.9%の減少となった。 <table> <tr> <td>・学校・保育所</td><td>1,157人(3.9%増)</td></tr> <tr> <td>・一般団体</td><td>1,850人(13.4%増)</td></tr> <tr> <td>・個人</td><td>6,470人(11.7%減)</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>9,477人(5.9%減)</td></tr> </table> ※開館日数 283日	・学校・保育所	1,157人(3.9%増)	・一般団体	1,850人(13.4%増)	・個人	6,470人(11.7%減)	合計	9,477人(5.9%減)
・学校・保育所	1,157人(3.9%増)								
・一般団体	1,850人(13.4%増)								
・個人	6,470人(11.7%減)								
合計	9,477人(5.9%減)								
収支状況	当年度収入10,048,500円（指定管理料収入:9,987,000、自主事業収入:61,500）に対し、支出13,268,055円、収支は3,219,555円の赤字。（法人市民税3,627,600円支払い）								

3 利用者へのアンケート調査

項 目	26年度の状況
調査の実施内容	対象：施設利用者 調査期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日 調査方法：アンケート用紙と箱を展示室に設置。自由に記入してもらう 回答件数：192件
調査の結果	どちらから来館したか：市内119人（62%）、市外73人（38%）。 他府県として千葉県・愛知県・奈良県・京都府あり。 スタッフの対応：「満足」が約91% 「やや満足」を含めると約96%（「不満」「やや不満」は0%） 展示の解説への対応：「分かった」が約68% 「だいたい分かった」を含めると100%
主な苦情・意見等	【 意見・要望、イベントの希望など 】 ○小学生以下 ・さわって体験できるイベント。 ・クリスマスのプレゼント箱を作る。 ・どうたくをならすイベント。 ・石ぼうちょうでいねをかるイベント。 ・れきしをおしえる会みたいのがしてほしい。 ○中学・高校生 ・今までの大阪学の授業で1番おもしろかったです。おみやげの袋など有難うございました。 ・久しぶりに来れて楽しかったです。 ○19～39歳 ・楠公祭りの時に館長の正行のお話を聞きに行ったのですが、平均年齢の高さにおじけづき・・・週末開催で我々世代が参加しやすいイベントがもっとあればと思います。 ・始めてきたのですが、四條畷ゆかりの地が詳しくわかりました。置いている物が教科書より素晴らしく、解説もTVよりも解りやすく面白かったです感謝します。 ○40～59歳 ・展示の内容等話をしていただくとすごく解り易いです。館長さんから説明を頂くと理解が深まります。家に戻ったら、もう一度深く「ふるさと四條畷」並びに頂いた冊子で復習致します。展示物のすごさに只々感動。 ・四條畷の歴史について、本当に良くわかりました。素敵な展示でした。スタッフの方々の解説やご案内もとても温かく、是非また来たいと思います。ありがとうございました。 ○60歳以上 ・説明していただきお礼申し上げます。小さいけれど中味の濃い素晴らしい資料館だと思います。三河の人間としてうらやましい土地ですね。 ・毎年この季節の特別展、企画のご苦勞に感謝します。展示物も毎年目新しいものが出ていて楽しみに見学させていただいています。 ・佐野様いつも素敵なイラストありがとうございます。心が癒されます。 ・身近なまじないを、身近な小道具も使い展示していたので気やすく見れました。イラストや絵がやわらかく、やさしい気分になりました。 ・今回のテーマが大変気に入っています。人とまじないすばらしい発想です。冊子も読んでみます。 ・大変わかりやすい展示になっており、特に絵画によるものが展示品とマッチして理解しやすかったです。 ・学芸員の方のとても詳細のご説明深謝致します。イラストも素晴らしく、まるで古代にタイムスリップした感じでした。又時々訪ねたく、そして古代の学びを深くしたいと思いました。 ・いつもイラスト画に感心しています。展示内容が2倍も3倍もよく解る気がします。これからもよろしく。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○ 5 ● 4 ○ 3 ○ 2 ○ 1
講 評	アンケート調査によると、スタッフの対応や展示の解説について高評を得ている。 施設の運営面では、前年度と比較し、学校等や一般など各種団体の利用は増加したものの、個人利用が減っており利用者数は全体で 5.9%の減少となった。また、市内はもとより市外からも多くの来館者があった。来館者には、指定管理者職員の説明でゆっくりと見学していただき、四條畷の歴史を広くPRすることができたことは、さらなる利用者増加への努力が伺える。また、例年どおり6年生の「歴史」と3年生の「昔の暮らし」の校外学習で、畷古文化研究保存会の会員の協力を得て子供たちが実物に触れる体験学習を実施したことは、子供たちへ郷土の歴史・文化に触れる機会を提供するという点で今後とも継続していただきたい。 施設の管理面では、展示室内の壁紙取り替えを行って、昨年度の展示ケース内と併せ展示室を一新するなど、計画的な保守管理に努めた点、夜間の侵入事件の際にも迅速な対応を行なうなど安全対策に努めた点、徹底したごみの削減や節電に努めることにより環境面への配慮も実施している点が顕著である。 以上の内容から「計画内容をやや上回るために大変努力している」と判断し、評価を「4」とする。

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る結果（担当部局として非常に満足できる結果）
- 4 計画内容をやや上回る結果（担当部局として満足できる結果）
- 3 計画内容どおりの結果（担当部局として妥当と判断する結果）
- 2 計画内容をやや下回る結果（担当部局として不満が残る結果）
- 1 計画内容を下回る結果（担当部局として非常に不満が残る結果）